

低温に対する農作物の管理について

令和7年3月28日

農業技術課

今週末から来週前半にかけて低温による影響が心配されます。今後の気象情報に注意し、農作物の管理を徹底してください。

2025年03月28日05時 甲府地方气象台 発表							
日付	今日 28日(金)	明日 29日(土)	明後日 30日(日)	31日(月)	01日(火)	02日(水)	03日(木)
山梨県	雨後曇 	曇一時雨 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇 
降水確率(%)	-/70/20/10	30/50/20/20	20	20	50	50	40
信頼度	-	-	A	A	C	C	B
甲府 気温 (℃)	最高	27	16 (14~18)	13 (11~16)	13 (10~17)	14 (11~19)	18 (15~21)
	最低	-	13	5 (3~7)	2 (1~5)	4 (2~6)	5 (3~8)

< 果樹 >

- 開花期間中の立木果樹では、下向き花を中心に丁寧な人工受粉を行うとともに、受粉回数を増やす。
- 凍霜害の常習地域や被害の発生が心配される場合は、摘花や摘果を遅らせる。

< 野菜 >

- 無加温ハウス栽培（スイートコーン等）
 - ・外気温が -1°C 以下になると予想された場合、ハウス内を多層（2～3層）被覆するとともに、状況によっては簡易ストーブ等を使って保温する。
- トンネル栽培、露地野菜（スイートコーン、レタス等）
 - ・低温が予想される場合は、早めにトンネルを閉めるなどして保温に努める。
 - ・スイートコーンのトンネル栽培では、軟弱徒長しないよう日頃からトンネルの換気に注意する。

< 茶 >

- 降霜が予想される場合は、以下の方法で寒冷紗等により被覆を行う。
 - ・棚がけは、被覆資材を株面より60～90cm離して被覆する。被覆資材は光線透過率が40～50%のものを用品、日中は開けておく。
 - ・トンネルがけでは、被覆資材を株面より40cmの高さに被覆する。被覆資材は光線透過率が50～90%の不織布を用いる。